

第2回地域連携・多職種協働周術期管理パス普及事業 公開セミナー

日 時：2015年12月6日（日）13：00～17：00

場 所：地域医療人材育成センターおかやま

MUSCAT CUBE 3階 MUSCAT Hall

テ ー マ：チームで行う周術期管理 術後せん妄対策ワークショップ

講演	「臨床に役立つ！せん妄の知識とスキル」 岡山大学病院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学 助教 井上真一郎先生
ワークショップ	グループワーク ①症例1：術後せん妄への対応、対応のポイント(動画) ②症例2：せん妄の発症予防と重症化予防 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学 助教 小田幸治先生 ミニレクチャー ①「せん妄を惹起しやすい薬剤の周術期管理」 岡山大学病院薬剤部主任薬剤師 村川公央先生 ②「D-mac 紹介」 岡山大学病院看護部精神看護専門看護師 馬場華奈己先生 ③「よくある質問への対応ポイント」 岡山大学病院急性重症患者看護専門看護師 伊藤真理先生

第2回 岡山県委託事業 地域連携・多職種協働周術期管理パス普及 公開セミナーを開催しました。今回のテーマは、チームで行う周術期管理 術後せん妄対策ワークショップです。

始めに、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学助教井上真一郎先生より、「臨床に役立つ！せん妄の知識とスキル」と題し、せん妄の症状、せん妄の評価ツール、せん妄の3つの因子とケア、せん妄における薬物療法について講演が行われました。

岡山大学病院では、精神科リエゾンチームとして、入院中の患者におこりうる不眠・抑うつ・せん妄などの症状を、主治医や看護師と連携しながら適切なサポートを行っています。精神科リエゾンチームのメンバーは、精神科医のみならず、精神看護専門看護師、臨床心理士など複数の職種から構成されています。岡山大学病院の術後せん妄対策の特徴は、周術期管理センター

(PERIO)で、せん妄のリスク評価を行い、「せん妄ハイリスク症例」は術前より精神科リエゾンチームと協働して、多職種で多面的にサポートを行っています。せん妄対策を始める中で、少しずつせん妄ハイリスクの概念が浸透し、紹介率が年々増加傾向にあります。術後せん妄は予防介入が可能で、術後せん妄の予防を行うことがとても重要であると考えられています。

ワークショップでは、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学助教小田幸治先生より、事例検討と入院中のせん妄患者への対応を動画で紹介されました。次に、岡山大学病院薬剤部主任薬剤師村川公央先生により、「せん妄を惹起しやすい薬剤の周術期管理」と題する講演が行われました。術前から持参薬の確認や内服状況の把握、せん妄を惹起しやすい薬剤を把握しておくことが、術後せん妄予防対策につながると述べられました。続いて、岡山大学病院看護部精神看護専門看護師馬場華奈己先生により、D-mac(Delirium Management & Assessment Center)の紹介と、岡山大学病院せん妄対策チームが制作した「せん妄の予防と対策について」のパンフレ

ットを用いて、臨場感のあふれるロールプレイを行いました。最後に、岡山大学病院急性重症患者看護専門看護師伊藤真理先生により、周術期管理センター術前看護外来で経験した事例を踏まえて、患者・家族への教育について、よくある質問への対応のポイントを紹介されました。

多職種で多角的な意見交換が行われ、実臨床に活かせる充実した内容のセミナーとなりました。59名が参加し、そのうち22名の方が県外から参加されました。

今回も多くのご後援をいただき、開催いたしました。

